發行所
和歌山市小松原通
和歌山縣廳秘書課
編集兼發行人
森　慶　三
印刷所
和歌山縣印刷所
定價㊎1部2圓50錢

左は車　右は人
施實通交面對

躍活大縣本に祭秋館産物國全

去る十一月一日より五日間東京都銀座通四丁目松阪屋横にある全國物産館で商工協會主催通商産業省後援のもとに秋祭が催されたがこれに便乘して各府縣自慢の主要商品展示即賣が實施され、我が國全特産品の一大繪巻を展開して延一萬の客を魅了した。

各府縣展示場一小間（九尺平方）の規準原則を特に二小間占め、去る九月「和歌山縣物産販賣斡旋所」が開設されたのであるが、當秋祭に因む展示即賣月間には不參加各府縣の展示場五小間を更に借り受け、本縣各特産品特に建具襖縁、黒江漆器、觀光寫眞の各展示並びに紀州密柑、柿、羊羹の即賣を行い、恰かも「全國物産館和歌山縣秋祭」の觀を抱かしめた。

殊に從來あまり一般都民に知られていなかつた本縣の柿は買手に「全國一だ」の聲多く、連日畫すぎには賣り盡してしまうという大成果を收めた。これに對し、密柑はあまり振わずその原因は規格の不統一にあり從つて買手は「一箱五十圓値下げせねば買わない」と言う狀態であつた。誠に惜しむべきことである。

本縣特産品の輸出は縣建具襖縁の展示は對象が特定業者に限られている故最初二日間は振わず、四日、五日目には業者連多數の視線を浴び成果が期待される。

果實販路に悪影響の規格不統一

◇◇◇◇◇一縣産業の振興は◇◇◇◇◇些細な工夫と誠意から

輸出品製造關係者は相手國の特性にマッチするよう絶えず創意工夫し、改良に專念することが肝要である。

寫眞は全國物産館秋祭に於ける本縣特産の展示場

本縣物産販賣斡旋所を大いに利用しよう

日本再建の基は我が國産業の復興と貿易の振興とにあるに鑑み、先般東京都中央區木挽町の木挽館ビル内の約三六〇坪を各府縣特産品大展覽會場に割當て、全國物産館を常設して以來、日毎にバイヤー及び國内業者の數が增加し、輸出移出に大いに寄與しつゝあるので本縣産業の振興を一手に担つた縣物産販賣斡旋所では輸出並びに移出の意志あるメイカーは左記により生産品を出品展示するなどどし當所を利用されることを要望している。

出品規定

▲出品資格は貿易品及縣外移出に適するもの

▲出品申込は縣商工課へ

▲出品物搬入は申込と同時に縣貿易協會（和歌山市小松原通一丁目）へ現品送付のこと。

▲鑑査の結果東京都全國物産館内和歌山縣物産販賣斡旋所展示場へ輸送する

▲輸送費は第一回分は縣が負担する。

▲出品展示費は無料

▲販賣斡旋した場合は賣價の千分の七の手數料を徴收する（但し小量の時は徴收せず）

經濟安定の鍵を握る國民貯蓄

本年度特別國民貯蓄運動

わが國經濟はインフレトションも殆んど終えんし、生産も次第に上昇する等前途に明るい希望を持ちうるような段階になつたのであるが、この際更に、わが國經濟を發展させ、豊かな生活を取り戻すためには通貨を安定せしめ、生産を向上させ輸出を增大する必要があるは言を俟たない。このためには産業資金の主要源泉である貯蓄の增强は特に必要がある。わけでこの貯蓄は、個人生活の幸福を增進させるは勿論のこと、貯蓄による資金によつて産業を振興し通貨の安定を圖り、國際上の信用をたかめる等日本經濟を安定さす上にあずかつて極めて大きな役割を果すのである。そこで年度間を通じても最も金の出廻る十一月、十二月を特別國民貯蓄運動期間として展開することになつた。縣民各位におかれては、わが國經濟の安定の振興、個人生活の幸福のために是非貯蓄が必要だということを再認識せられ、貯蓄の增進に協力せらるゝ樣お願いする次第である

本年度特別國民貯蓄運動實施方針

一、趣旨

昭和二十四年度における本縣の貯蓄運動は着々その効を奏し、既に目標額の半額を越えたのであるが、經濟再建のためには益々資金の蓄積を必要とするから、政府の運動方針に則り十一月、十二月を特別運動期間として展開し、供出代金の長期預金化、歳末浮動資金の貯蓄化をねらうとともに、貯蓄組合を一層强化擴充して零細貯蓄の不斷實行を促進することとし、益々貯蓄心の向上を圖り、もつて經濟安定九原則の圓滑な遂行に資するため本運動を强力に推進する

二、運動方策

(1) 農業資金蓄積運動の展開

農村においては、金融機關および各種團体の積極的な協力を得て、供出代金（米、諸、柿、密柑、木炭、其の他）の振替拂は勿論その他收獲代金の貯蓄化の徹底を圖るとともにこの際退藏現金の一掃を期する。

特に供出代金等について豫めその受入金額を見積り全額長期貯蓄化について具体的な計畫を設定してその達成に努力する。

(2) 企業資金蓄積の强化

市街地に對し、日掛月掛等の方法により將來の企業に備え（納稅準備をも含む）資金の積立に拍車をかけ職域貯蓄の强化に努める。

(3) 貯蓄組合の强化擴充

貯蓄組合總加入運動方針の目標數（二一六四組合）完遂を期するため更に推進を强化し概ね左記を目途として飛躍增强を期する。

（イ）地域及び官公署學校等職域の組合未結成の向に對しては本期間中に全面的結成完了をみるよう極力勸奬すること。工場、事業場等の職域については關係者に對し說得に努めこの際組合結成の增加を圖る。

（ロ）業域については(1)と關連して農業協同組合に對し又(2)と關連して商工業者團体に對し夫々組合結成を促進する。

（ハ）婦人團体については特に本運動推進に參加協力せしめ、生活の合理化特に冗費節約に對する堅實な申合せによる組合の結成とその運營の活發化に努める。

(4) こども銀行の擴充

本期間中に、こども銀行設定數を全學校數（小中學校）の八割以上達成を目標として關係方面に對し一層奬勵に努める、なお貯蓄人員の增加と貯蓄源の向上をねらい又自立的運營により更に教育的効果を擧げるよう指導する。

(5) 貯蓄組合、こども銀行の實体把握

台張作成のための實体調査と貯蓄組合設立屆の勵行を期するため各種報告および屆出制度の徹底を圖る。

三、實行方法

地方事務所、市町村に於ては吏員、その他團体との懇談會、講演會或いは座談會を開催し貯蓄實踐の昂揚を圖る。

（備考）

本運動推進に當つては常に經濟安定の明るい見透しと貯蓄の安全性、有利性を强調して貯蓄意慾を一段と振起する。

既に一、〇〇〇萬圓突破

大人そこのけの小供銀行

昨年發足した小供銀行はその後益々盛況を呈し設置數二四五、參加人員五八二三人貯金額實に一〇九〇万圓を突破するという、まさに大人そこのけの觀を呈するに至つた、殊に、日高、東西兩牟婁郡の紀南に盛んである、昨年度は附屬、粉河の小供銀行が表彰されたが二十四年度は中央表彰は笠田、岩出、太地小原小學校、新庄中學、箕一本町小學校が表彰される

こども銀行設立狀況（24.6末現在）

預け先 ＼ 地區	小中學校數	銀行	農協	郵便局	合計	學校數に對する設立率
和歌山市	35	19	3	1	23	65.7%
海南市	7	1	0	2	3	42.8%
田邊市	7	0	1	2	1	14.2%
新宮市	7	0	2	0	2	28.5%
海草郡	60	1	4	2	7	11.6%
那賀郡	35	2	24	0	26	74.2%
伊都郡	68	8	18	4	30	44.1%
有田郡	49	9	16	7	32	65.3%
日高郡	94	9	25	4	38	40.4%
西牟婁郡	107	10	25	6	41	38.3%
東牟婁郡	72	4	23	15	42	58.3%
合計 設立數	(541)	63	141	41	245	45.2%
貯金者					58.213	
貯金費					10.901.062	

有權者の皆さん

あなたは「選擧人名簿」に登錄されていますか

本年九月十五日現在で調製された選擧人名簿に登錄されていない人は、今後一ケ年の間に行う選擧に投票することはできません。有權者は必ず名簿の縱覽期間中に自分が登錄されているかどうかを市役所又は町村役場え行つてたしかめて下さい。

縱覽期間は十一月五日から十一月十九日迄です。

和歌山縣選擧管理委員會

▲我が日高郡出身の湯川秀樹博士がノーベル賞を受けられた。▲先達ての全米水泳に於ける橋爪村山兩選手の活躍と共に最近紀州兒の世界的偉業である。▲とともに弛緩し切つた國民志氣覺醒のために投じた紀州青年の大ヒットと言えよう。▲世界中が喝采し日本中が沸き立つたと同時に全和歌山縣民が狂喜したのも當然である。▲まさか之で以て紀州人が皆偉いんだとか縣人は誰でも優秀なんだナンテ飛んでもない已ぼれを持つ者もあるまいが、正直な處イササカ肩身の廣い感じのするのは南北子一人のみでもあるまい。▲ドエライ人物が出た機會に鄕土の人々が我劣らじと各自に内在する尊い個性の力を發見し奮起するモチーヴを握むことが大切。▲所謂「地方傳統の力」の湧いて出る所以もこゝにある▲曾つて和歌山が野球に日本一の盛名を馳せたのもこれであり、前畑孃以後水泳に輝く歴史をつゞけているのもこれだといえよう。▲こゝで一つ忘れてならぬことは湯川博士にしても橋爪村山兩君にしても今日の榮譽を獲ち得た裏面には人知れぬ血涙の苦勞を重ねて來たものであることを知る必要のあることをである。（M）

學士院會員選任記念講演

〃我が道を顧みて〃

和歌山縣立醫科大學々長
古武彌四郎

古武學長には去る十月十三日附官報で學士院會員に選任された發表があつたので、本月二日先生の學術を慕う人々が相語つて記念講演會を開催された先生御講演の要旨をかりに「我が道を顧みて」と題してこゝに發表させて頂くことにした。

本日私の如き物の爲に皆様多數お集まり下され、斯くも盛大なる祝賀の會を催して下さつた事を深く感謝致します。私が皆様の此の度の御厚意に値するか否かは居りませんが、少くとも私の如き凡人が少しは偉くなる爲めには此の働くと言う習慣は極めて大切であると考え、其後大阪に歸つても此精神を失つたことはありませぬ。

大阪に歸つてからは大阪高等醫學校の助教諭となり、暫くして獨逸留學の話が出ました。私は其時曾て日本人の一度も行つた事のない所、即ち日本人臭の全くない所で獨逸科學の眞髓を摑みたいと言う考えから、ケーニヒスベルグを選びました。ケーニヒスベルグは彼の有名なカントがその一生を通じ暮して居つた所であり、カントの時間に對して有して居た極めて嚴格な性格と、私の性格とに一脈通じた所があるのも私が此の地を選ばしめた一因であります。カントが時間的に机帳面であつた事は非常なものでカントが大學への往き歸り或いは散策に町を通りまする時にはケーニヒスベルグの市民達は「カントがあの橋の上を通つたから今何時何分である」と言つて時計を合わしたと傳えられて居る位であります。

古武彌四郎先生

私がケーニヒスベルグのヤツフエ先生を訪ねました當時、ヤツフエ先生は彼の晩年の大偉業であるベンツオールが動物体内でムコン酸を形成する事の研究をやつて居られました當時其の大學も研究費が少く、實驗に使用する容器もビールの空瓶を使用して居る様な有様でありましたが、ヤツフエ先生の忍耐强さと又尿中のムコン酸の結晶を異常なるものとして、觀破せられた慧眼とには私も心から敬服致しました。

私がヤツフエ先生の所に行きましたのは私に取つて一生の研究の進むべき道を決定する動機となりました。と言うのはヤツフエ先生の所に非常に重要な物質が殘つて居つたからであります。それはウロカニン酸（尿犬酸）と言うものであり、ヤツフエ先生が偶然一匹の犬の尿より分離せられたものであります。ヤツフエ先生の調べられた所では此のウロカニン酸を排泄する犬は唯一匹でありまして、先生は其犬を大切にして居られましたが、或日其犬が居なくなりました。先生は極力手を盡してその犬を探されたのでありますが、遂に再び得る事は出來ず、從つてウロカニン酸に關する研究も此處に中絶するの止むなきに至つたのであります。

ヤツフエ先生は此の犬の失踪を非常に殘念がられ「運命の惡戯」と長嘆せられたのでありますが、私のウロカニン酸に關する研究を日本に持つて歸つて行いまして、遂にアミノ酸の一種であるヒスチヂンが生理的に動物体内でレン酸（犬尿酸）に關する研究であります。キヌレン酸は有機化學の鼻祖として有名なリービツヒの發見にかゝるものでありますが、私の高弟の一人である松岡氏が私の後矢張りケーニヒスベルグの大學に留學して、ヤツフエ先生の女婿であるエリンガー教授と共同して此のキヌレン酸の母質に就て研究し、遂にアミノ酸の一種であるトリプトフアンからキヌレン酸が出來て來る大体の經過を確定致しました。

私共は此の問題を日本に於て更に研究致しまして此のトリプトフアンからキヌニン酸になる途中、私のキヌレニンと名付けまする一新物質を經る事を明にしました。

此のキヌレニンはトリプトフアン分解途中に生ずるものである事は勿論でありますが、又非常に重要な物質でありますと申しますのはキヌレニンを中心として生理的に重要なる物質が數多作られて來るからであります。

即ち私共はキヌレニンからキヌレン酸が生じて來る事を明かに致しましたが、又一方キヌレニンからアントラニル酸の出來て來る事も明に致しました。アントラニル酸は合成藍の原料として重要なものであり、有機化學の上からは古くより知られて居つたものでありますが、動物体内で生ずる事を明かに致しましたのは私共が最初であります。而も此のアントラニル酸は微量で生理的に重要なる作用を現はし、最近は中原氏によつて催乳ホルモンの一つであると唱えられて居る位であります。

キヌレニンより生ずる物質で次に大切なものはニコチン酸（ナイアシン）であります。

北米中部地方では玉蜀黍を主食として居りますが、此の地方には一種のビタミン缺亡症であるペラグラと言う病氣が流行して居ります。此のペラグラをなおすビタミンがニコチン酸であります。北米最近の研究でトリプトフアンが動物体内でニコチン酸になる事、而もその途中キヌレニンを經る事を明かにしました。玉蜀黍にはニコチン酸は勿論、その母質であるトリプトフアンも少いのでありまして、是のみを食べて居れば動物はニコチン酸缺亡症即ちペラグラに罹る事は當然の事として理解できるのであります、他方亦此キヌレニンが遺傳學上重要なもので昆虫眼色發現の起原であることが明かになりました。

此の様にして私の發見しましたキヌレニンの重要性が廣く認識される様になり、從つて發見者である私の名前が少しく世間に知られる様になつたのであります。

私が最初キヌレニンに對して與えて居りました構造式は其後獨逸の少壯科學者ブテナントによつて改められました。ブテナントは本年五十才位であり、ノーベル受賞者で獨逸の何處かで今なお研究に精進して居る事と思います。私は本年七十一才であり親子ほど年がちがうブテナントに先越された形でありますが是も凡骨の致す所、止むを得ません。

併し飜つて思うに人は研究上偶々過ちを犯す事があつてもそれを恐れ過きてはならないと考えます。野口英世は日本の代表的科學者でありますが、野口氏の唱えた事で眞實であつたのは其一部分に止まります。トラホームの病源に關する如き睡眠病に關する如き可なり大きな誤を犯して居たものということが出來ますがそれが爲に野口氏の聲價は毫も減殺せられるものではありませぬ。

私の研究に付きましても尚私に續く幾多の人達によつて漸次實く正しく改められて行く事を願うものであります。

なお二三お話し致し度い事もありますが時間が長くなりましたので此の邊で止めて置きます。

本日は誠に有難う御座居ました。

（文責在記者）

病害虫を防げ

復興めざましき本縣の柑橘業

次に病害虫防除の問題は本縣柑橘栽培上差迫つての問題として最も重大ということが出來る。それは諸生産費中病害虫防除に投ずる資金は直ちに生産量を增し、品質を向上し、市價を引上げ、その効果が多くの場合支出經費を上廻るばかりでなく、樹勢を健康にし翌年の利益にまで効果が及ぶからである。

縣では最惡害虫である天牛と、矢の根介殼虫の防除に助成の道を構じて居るが、天牛については福籤を發行して捕殺を奬勵し、昨年度に於て五〇萬匹の計畫を六四萬捕殺し、本年度は百萬匹計畫を百拾八萬匹捕殺し、これにより被害を相當輕減出來るものとして居るが、かゝる事項は永續的に行わねば効果の上らぬことであるから一層民間の協力を希望して居る次第である。

矢の根介殼虫防除に縣下全般的には一層力を注がねばならぬ狀態である。

次に電化機械化の問題である。今後の柑橘生産改善上の重点は生産費の低減策にあり、それには電化、機械化つき特に燻蒸天幕の購入を助成し昨年度は輸出蜜柑の合格數に對し本年は天幕一、五〇〇張分に助成することゝなつて居るが、致命的被害をなす本虫に對し有田、海草は徹底した驅除が普及して居るが、下津町小原部落は逸早くこれが實現を見て居るが、目下拾數ケ町村其希望あると聞いて居る。指導奬勵の如何に依ては急速に發達するものと見られて居る。

果樹園藝試驗場の活躍に期待

縣の柑橘研究機關としては果樹園藝試驗場の擴充を圖り職員を增員し、建築、試驗設備等を一新して居るので今後實際的の問題を取上げて研究を行う方針である。事情の許す限り産地に於ける改善を要する諸問題と併行した行方をしたいので利用協力されるよう希望して居る。

研究の要部門は、栽培改善部、病害虫部化學部（土壤、肥料關係）である。

次に果樹農業協同組合である。縣下の全農家戸數約八五、〇〇〇戸中、果樹栽培農家は約二五、〇〇〇戸であるので、その福利を共通する果樹栽培農家の特殊農業協同組合の設立が要望されて居るが昨年來那賀郡、伊都郡有田郡、西牟婁郡及海草郡の一部に果樹農協及園藝農協等が設立され、縣の果樹農業協同組合連合會も活潑な活動を開始して居るので漸次果樹栽培家の特殊團体として面目を一新するに至るであらう。

（了）

☆ ★

配給粉は美味しいパンとうどんに加工して召上れ（誠實と信頼を用る店）

和歌山縣パン工業協同組合
理事長、松尾俊雄
專務理事、名方勝太郎
和歌山市辨財天町一番地
電話（和歌山）三一八九

和歌山縣パン工業會
會長　西川元一
專務理事　梅林實

松本製パン　和歌山市杉ノ馬場
富士製パン　和歌山市本町四丁目
中島製パン　和歌山市新八百屋町
マルト製パン　和歌山市中ノ島七六三
富士家パン店　和歌山市島崎町六丁目
ナカタ製パン　和歌山市山陰町五
岡茂本店　和歌山市雑賀町四
和歌山ベーカリー　和歌山市吉田二三三
泉屋のパン　宇須三四七（電七二四番）
コイケのパン　和歌山市西長町

和歌山縣製粉工業協同組合
和歌山市太田
電話一一〇四番

和歌山縣乾麺工業協同組合
和歌山市美園町三丁目二五番地

辻岡製粉製麺工業所
和歌山市杭ノ瀬
電話一七二四番

大阪窯業セメント縣下特約店
上山商店
和歌山縣海南市鳥居二〇九番地
電話四二四番